

都市空間情報デジタル基盤構築支援事業 説明会

令和7年度採択都市 事例発表（2月）

埼玉県さいたま市
都市局都市計画部都市計画課





PLATEAU
by MLIT

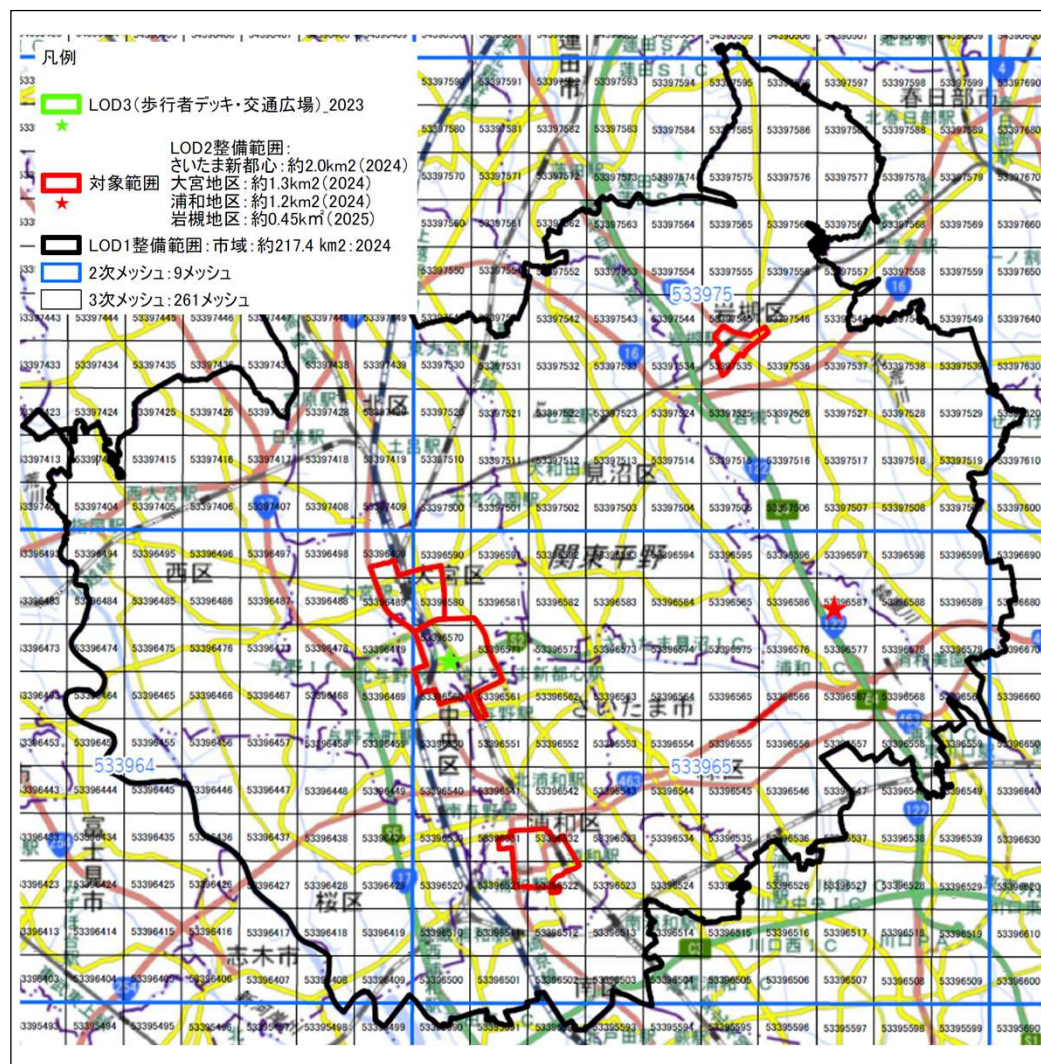
I. 3D都市モデルの整備

整備している3D都市モデルの概要

整備対象地物

地物名		整備状況	範囲
建築物	LOD1	R2新規 R4,6,7(6補正),8(7補正)更新	市全域(217.43km ²)
	LOD2	R2,4,5,7(6補正)新規 R6, 7(6補正),8(7補正)更新	浦和駅周辺、大宮駅周辺、さいたま新都心駅周辺、岩槻駅周辺(4.95km ²)
道路	LOD1	R2新規 R4,6,7(6補正),8(7補正)更新	市全域(217.43km ²)
	LOD2	R4,5新規 R6更新	浦和駅周辺、大宮駅周辺、さいたま新都心駅周辺(4.50km ²)
都市計画決定情報	LOD1	R2新規	市全域(217.43km ²)
土地利用	LOD1	R2新規	市全域(217.43km ²)
災害リスク	LOD1	R5新規	市全域(217.43km ²)
地形	LOD1	R2新規	市全域(217.43km ²)
橋梁	LOD2	R5新規	大宮駅周辺、さいたま新都心駅周辺の一部
広場	LOD3	R5新規	さいたま新都心駅周辺の一部
都市設備	LOD3	R5新規	さいたま新都心駅周辺の一部
植生	LOD3	R5新規	さいたま新都心駅周辺の一部

整備エリア図





PLATEAU
by MLIT

Ⅱ. 3D都市モデルの活用一覧 (UC)

実施事業		事業費(配分ベース) 【千円】	実施主体
年度	ユースケース事業名		
R5	総合交通分析を基にしたウォークブル空間の創出	11,000	さいたま市 (都心整備課)
R6	さいたま新都心周辺地区総合交通分析	19,986	さいたま市 (都心整備課)
R6	3D都市モデル×マイクラフトによるまちづくりへの市民参画促進	11,720	さいたま市 (都市計画課)
R6	時系列の三次元浸水データとの重畳による災害リスクの可視化	4,086	さいたま市 (都市計画課)
R6	3D都市モデルアイデアソン	※民事業のため市負担ゼロ	シビックテックさいたま
R6	3D都市モデル×Unityハンズオン	※民事業のため市負担ゼロ	シビックテックさいたま
R7	3D都市モデル×マイクラフトによるまちづくりへの市民参画促進	8,040	さいたま市 (都市計画課)
R7	雨庭等の雨水貯留施設の整備効果の可視化	※民事業のため市負担ゼロ	(株)福山コンサルタント
R7	3D都市モデルを活用した運送事業者の訓練用ドライブシミュレータ	※民事業のため市負担ゼロ	(株)フォーラムエイト
R7	eスポーツの活用によるさいたま市の新たな魅力創出と地域コミュニティ活性化 (3D都市モデル×Fortnite)	※民事業のため市負担ゼロ	(株)モンドリアン
R7	3D都市モデルアイデアソン	※民事業のため市負担ゼロ	シビックテックさいたま
R8 (R7補正)	水平・垂直避難シミュレーションによる防災まちづくりの高度化	8,000	さいたま市 (都市計画課)

【参考/さいたま市Webページ】<https://www.city.saitama.lg.jp/001/010/014/007/p095951.html>



PLATEAU
by MLIT

Ⅲ. R6,7年度の3D都市モデルの活用（ユースケース開発）

ユースケース名：3D都市モデル×マインクラフトによるまちづくりへの市民参画促進

<p>目的</p>	<p>まちづくりへの市民参画促進、シビックプライドの醸成</p>
<p>活用内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 3D都市モデルを変換してマインクラフトの世界データを作成・公開する。 ● 同データを活用し、こどもを対象としたまちづくりワークショップ、作品コンテスト等を開催する。 ● また、作品コンテストにおけるグランプリ等の作品については、誰でもその内容が確認できるようGISデータに変換してPLATEAU VIEWで可視化する。

■ ユースケース開発成果イメージ図



3D都市モデルをマインクラフト世界データに変換

まちづくりワークショップ、コンテスト等の開催

KPIの項目	指標・定義	R7目標値	R7実測値
<p>まちづくりへの市民参画促進</p>	<p>イベント参加者のうちまちづくりに関心を持った人の割合（％） 【アンケート】</p>	<p>90%</p>	<p>94.1%(190/202) こども94.0%(125/133) 保護者94.2%(65/69)</p>

■ 事業実施にあたり工夫した点

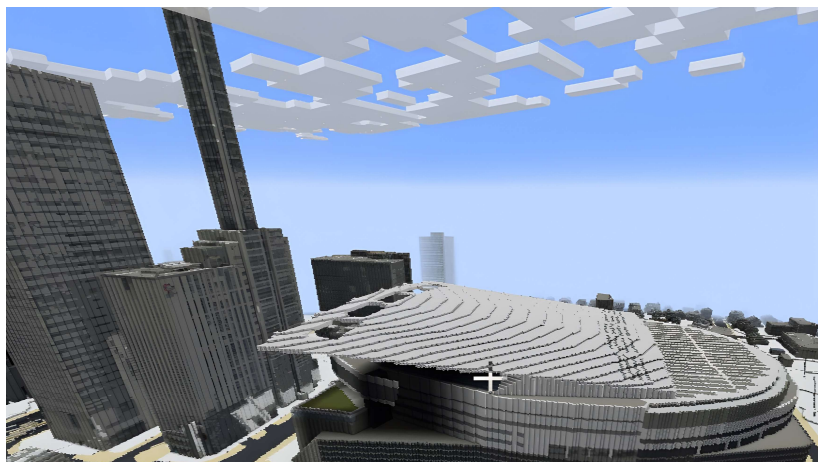
- 学校の先生や民間企業との連携など各プレイヤーの巻き込み
- “まちづくり”について考えてもらうための審査の視点の設定
- 市長によるトップセールス
- 実施した内容は記事化し、情報発信



PLATEAU
by MLIT

Ⅲ. R6,7年度の3D都市モデルの活用（ユースケース開発）

ユースケース名：3D都市モデル×マインクラフトによるまちづくりへの市民参画促進



3D都市モデルをマインクラフトワールドデータに変換
(さいたまスーパーアリーナ周辺)



実寸大AR体験



まちづくりワークショップ



まちづくり作品コンテストの最終審査会・表彰式



子どもたちの作品をGISデータに変換しPLATEAU VIEWで可視化

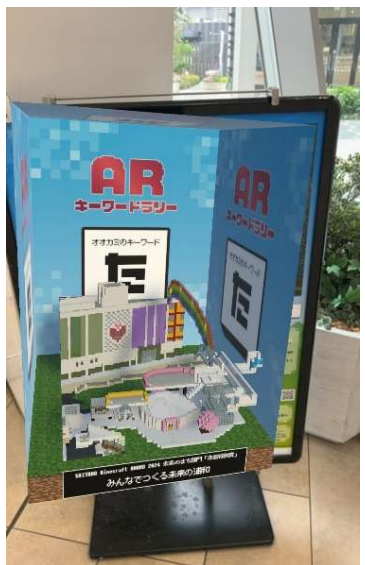


PLATEAU
by MLIT

Ⅲ. R6,7年度の3D都市モデルの活用（ユースケース開発）

ユースケースから波及した取組

- 株式会社松竹マルチプレックスシアターズ（MOVIXさいたま）、株式会社ホロラボと連携し、2025/4/25～5/15に、マイクラの実写化映画『マイクラフト/ザ・ムービー』の公開にあわせて、MOVIXさいたま劇場内、及びコクーンシティ館内各拠点で「ARキーワードラリー」を実施。
- 「ARキーワードラリー」では、「SAITAMA Minecraft AWARD 2024」の受賞作品をARで再現。映画を鑑賞して、キーワードを集めた方には映画やさいたま市に関連したノベルティをプレゼント。



ARで可視化



さいたま市民の日には映画館でコラボ

SAITAMA Minecraft AWARD 2024 × MOVIXさいたま

AR キーワードラリー
期間 4.25日～5.15日

SAITAMA Minecraft AWARDとは
2024年度にさいたま市が主催したマイクラコンテストのグランプリ受賞作品を株式会社ホロラボ提供の技術のもとAR化！
※コンテストは2025年度も開催予定！

参加方法

- STEP 1** コクーンシティ内5か所にあるポスターを見つけよう！
※コクーン物販店エリア
営業時間 / 10:00～21:00
- STEP 2** ポスターのQRコードを読み込んで、ARの中に隠されたキーワードを探そう！
こどもたちのマイクラ作品が目印に！
- STEP 3** MOVIXさいたまで鑑賞した『マイクラフト/ザ・ムービー』の半券と一緒に、グッズ売り場のスタッフにキーワードを伝えよう。豪華賞品が当たるくじが引けるよ！

キーワードはココ！ ARの表示方法もキーワードポスターで確認！

STEP 1 コクーン1 / 2F GAP前	STEP 2 コクーン1 / 1F 紀伊國屋書店前	STEP 3 コクーン2 / 1F おもてなしプラザ	STEP 4 コクーン2 / 2F ECCO(エコー)前	STEP 5 コクーン2 / 3F コクーンキッチン横
-------------------------------------	----------------------------------------	-----------------------------------------	-------------------------------------------	------------------------------------------

A賞 オリジナルTシャツ 1名様
B賞 オリジナルノート 1名様
C賞 オリジナルキーホルダー 1名様
D賞 オリジナルTシャツ 3名様
E賞 オリジナルキーホルダー 20名様
参加賞 オリジナルステッカー 2000名様
参加賞 オリジナルステッカー ASがアワード 1000名様(先着)

共催: **MLP** 松竹マルチプレックスシアターズ | **Saitama City** | **HOLOLABO**

PRポスター



PLATEAU
by MLIT

IV. R8年度の3D都市モデルの活用（ユースケース開発）

ユースケース名：水平・垂直避難シミュレーションによる防災まちづくりの高度化

目的	地域防災力の向上
活用内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 立地適正化計画（今年度内策定予定）の防災指針に基づく取組。 ● 水害リスクが高いものの居住誘導区域に設定しているエリアを対象に、水害発生時を想定した水平・垂直避難シミュレーションを実施する。 ● また、シミュレーション結果に基づいた要避難対策エリアの可視化および当該エリアの解消に向けた検討を行う。 ● 成果は対象エリアにおける公民が連携した防災まちづくりの推進に活用。

KPIの項目	指標・定義	目標値
防災まちづくりの高度化	水平・垂直避難シミュレーション結果が防災まちづくりの推進など地域防災力の向上に有効と回答する職員の割合（％）【アンケート】	80%

■ ユースケース開発成果イメージ図



図中凡例：←→ 浸水到達時間>避難に要する時間の避難経路 ○ 各避難所への避難可能エリア
 ● 大型側溝、アンダーパス等道路上の避難時避難危険箇所（土砂災害警戒区域がある場合は同等に経路上危険範囲に設定）※避難経路は危険箇所を避けるように設定

